

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習について

①砲丸投の練習は補助競技場で行うこと。円盤・ハンマー・やりの練習は、アクアウィング横の多目的運動広場にて行うこと。ウォームアップ場係の指示に従い、決められた場所以外での練習は絶対にしてはならない。競技会の時間以外は必ず顧問が付き添うこと。

②棒高跳の1日目の練習は、本競技場で14:00～競技終了まで実施することができる。なお、準備等は出場選手で行うものとする。

3 競技場について

競技場（含補助競技場）は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下の平行ピンとする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

4 招集について

①招集場所は、100mスタート付近のダッグアウト内に設置する。

②招集完了時刻は、トラック競技は20分前、フィールド競技は40分前、混成は30分前、ただし棒高跳は60分前とする。

③招集完了時刻5分前には招集所で待機し、最終確認を受けること。

④種目を棄権する場合は、招集所に申し出ること。

⑤他の種目と兼ねて、同時に競技する者は、競技者係またはその種目の審判員に申し出て、競技進行に支障のないようにすること。

⑥リレー種目に出場するチームは、各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

⑦混成競技の招集は、両日の第1種目は一般の種目の招集方法と同様に、招集所で最終確認を受ける。第2種目以降は、トラック競技が開始20分前までに、フィールド競技は30分前までに混成控室（トレーニングルーム）に集合のこと。また、最終種目（男子1500m・女子800m）は、混成控室で腰ナンバー標識を受け取ること。

⑧招集に遅れた者は、棄権とみなし出場を許可しない。

5 競技について

①ナンバーカードは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでよい。ナンバーカードのない者は出場できない。

②4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバー標識を、3000m以上の種目は胸と背につけるレーンナンバーカードを1時間前に招集所で受け取ること。ただし、それらを受け取ったことで招集が完了したことにはならない。

③棒高跳用のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいならない。

④走高跳は、Aピット（第2曲走路内側100mスタート側）・Bピット（第2曲走路内側200mスタート側）の2か所で行う。また、走幅跳はAピット（ホームストレート側）・Bピット（バックストレート側）の2か所で行う。

⑤出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へ入らないこと。また、出場する選手が競技場所を離れる場合は必ず競技役員に申し出ること。

⑥リレー、走高跳、やり投用のマーカ―は各競技者で用意をすること。それ以外のフィールド種目のマーカ―は主催者が用意する。終了後は撤去すること。

⑦リレー出場者は各チーム同一色のユニフォームを着用するものとする。

⑧混成競技の最終種目の組合せは、それまでの得点合計によって編成する。

⑨三段跳の踏切板は砂場より男子は11m、女子は9mの位置に設置する。

⑩フィールド競技の試技を命ぜられてからは、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	3分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	2分	2分		

⑪不正スタートした競技者は1回目で失格とする。ただし、混成競技は2回目以降に不正スタートをした競技者が失格となる。

⑫走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について（ただし、天候等により審判長判断で高さの変更もあり得る）

【男子】

練習

走高跳	1.65/1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.93	1.96	・・・		
走高跳（混成A・B）	1.35/1.60	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78	・・・
棒高跳	2.60/4.00	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	3.90	・・・	

【女子】

練習

走高跳	1.35/1.50	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	・・・	
走高跳（混成A・B）	1.15/1.35	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	・・・	
棒高跳	1.80/2.20	1.90	2.10	2.30	2.50	2.60	2.70	2.80	・・・

・同記録で順位決定の必要がある場合（1位と北信越大会への出場権）は、バーの上げ下げを走高跳は2cm 棒高跳は5cm で実施する。

・棒高跳の公式練習は上記2段階での練習と、競技役員の手指示により、もう1段階の練習設定ができる。

6 助力について

①競技者は、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。

②コーチ等からの助言やビデオ等の視聴については競技場区域外（スタンド）のみとし、コーチングエリアは設けない。ただし、ビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。

7 学校対抗について

①男女別学校対抗とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。）

②入賞者の得点は1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

8 表彰について

①各種目8位までの入賞者に賞状を授与する。入賞者は、競技が終了し、結果のアナウンス後、すみやかに正面スタンド下の表彰者控え所に集合のこと。

②男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3位の高校には賞状を授与する。

9 北信越大会への出場について

①上位4名（4チーム）の者は北信越大会への出場資格を得る。ただし、1人2種目以内とする。（リレーは別）辞退者が出た場合、8位入賞者から順次繰り上げをする。

②トラック競技で同着4位の場合は、ともに北信越大会への出場が認められる。

③北信越大会出場権取得者は、大会終了日までに本部へ参加料1人2,000円を添えて各校まとめて申込みをする。

10 応援・テントの設営について

①メインスタンドでの集団連呼応援は禁止とする。また芝スタンドでの集団応援は、芝生スタンド中段より上部行い、フィールド競技実施中はその近くでの応援はしないこと。

②各校選手休憩場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は、3日間とも7:00に開場する。

11 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

12 その他

①競技者の服装・身なり・態度は、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。

②貴重品は各自保管すること。ゴミ等は各自が責任をもって持ち帰ること。

③受付は競技場正面入口1階ロビーで、3日間とも7:30から行う。

④競技の結果、競技実施に関する抗議は正式結果発表後30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に大会総務に申し出ること。

⑤競技場内での撮影は該当選手の関係者がその該当を対象にしたもののみを許可し、それ以外の撮影を一切認めない。

⑥プログラムの記載ミスについてはプログラム訂正用紙を受付に提出すること。